

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【公開番号】特開2012-103134(P2012-103134A)

【公開日】平成24年5月31日 (2012.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2012-021

【出願番号】特願2010-252360(P2010-252360)

【国際特許分類】

G 0 1 C 11/06 (2006.01)

G 0 1 B 11/24 (2006.01)

G 0 6 T 15/00 (2011.01)

G 0 6 T 19/00 (2011.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 17/50 (2006.01)

G 0 1 C 15/06 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 C 11/06

G 0 1 B 11/24 K

G 0 6 T 15/00 1 0 0 A

G 0 6 T 17/40 A

G 0 6 T 1/00 3 1 5

G 0 6 F 17/50 6 2 2 A

G 0 6 F 17/50 6 2 4 A

G 0 6 F 17/50 6 8 0 B

G 0 1 C 15/06 T

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月6日 (2013.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 4 】

さらに、標識グループ化部 7 1 の第 1 のグループ化部 7 1 2 A で、面の法線に対する位置検出マークの位置座標の関係に基づいて、例えば、原点から平面までの距離（式 7 参照）に対応して、測定対象面に対応にグループ化する（第 1 のグループ化工程：S 1 2 0 A）。すなわち、同一平面に貼付されたカラーコードターゲット C T が同一グループに属するようにグループ化する。

測定対象面内の各点（ x_1 ， y_1 ， z_1 ）について、

点 P 1（ x_1 ， y_1 ， z_1 ）と原点との距離 = $\sqrt{x_1^2 + y_1^2 + z_1^2}$ （式 5）

点 P 1（ x_1 ， y_1 ， z_1 ）のある点 P（ p ， q ， r ）までの距離

= $\sqrt{(x_1 - p)^2 + (y_1 - q)^2 + (z_1 - r)^2}$ （式 6）

原点から平面（ $ax + by + cz + d = 0$ ）へ下ろした垂線の長さ

= $|d| / \sqrt{a^2 + b^2 + c^2}$ （式 7）

ある点 P（ p ， q ， r ）から平面（ $ax + by + cz + d = 0$ ）へ下ろした垂線の長さ

= $|ap + bq + cr - d| / \sqrt{a^2 + b^2 + c^2}$ （式 8）

となる。これらを計算し、一つの平面へ下ろした垂線の長さが略等しいカラーコードターゲットCTは、同一平面内にあるので、同一グループになるようにグループ分けする。ここで、 $f(x)$ は $\sqrt{f(x)}$ を表す。